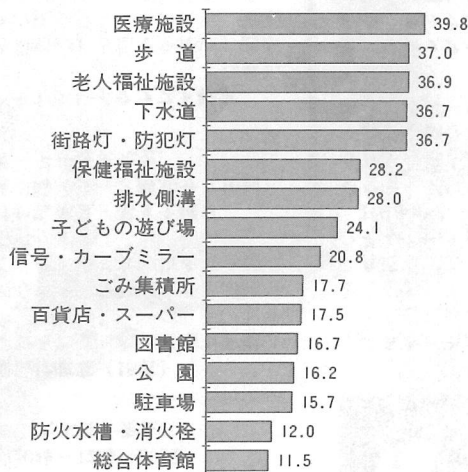


〈グラフ4〉

整備・増設してほしい施設

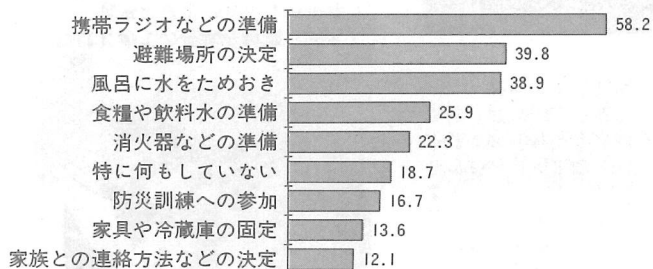
(注：複数回答数5)



〈グラフ5〉

大地震に備えて行っていること

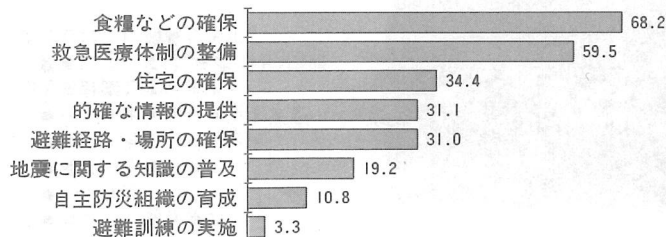
(注：複数回答数10)



〈グラフ6〉

町の災害対策

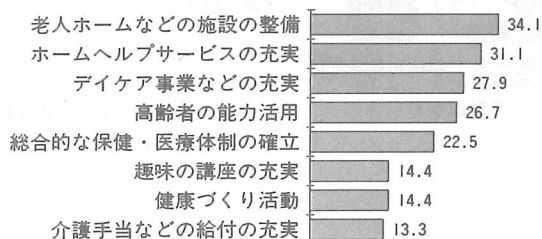
(注：複数回答数3)



〈グラフ7〉

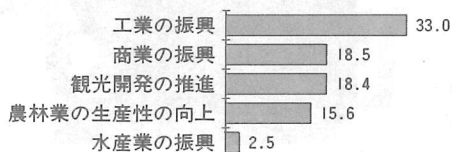
高齢化社会対策

(注：複数回答数2)



〈グラフ8〉

産業振興策



まちづくり

●今後のまちづくりの進め方は福祉・医療・防災などを重視する「安心して住めるまちづくり」が最も多く、3人に1人があげています。特に高齢層や女性などで多くの人があげています。一方、若い世代や勤め人、居住歴10年未満層など、活動範囲が広く、町外視のつながりが深い人は、生活利便性や快適性重視の「便利で快適なまちづくり」をあげる人が多くなっています。(グラフ9)

●町を一層住みよくするために特に力を入れてほしい施策は、「高齢化社会対策」が最も高く、以下「下水道の整備」「生活道路の整備」「医療施設の充実」「交通機関の充実」「駅周辺の再開発」「自然環境の保全」などの順で続いています。福祉、医療や生活の利便性、快適性などが上位を占めています。これらは各地区、各年齢層で高く、町全体の課題になっています。(グラフ10)

まとめ

今回のアンケート結果をまとめてみると、多くの町民が「町は住みよい」「町に住み続けたい」と感じています。この一方で、道路交通や下水排水への評価は非常に低くなっています。また、医療や福祉などを重視する人が最も多く、特に高齢化社会対策は最重要課題にあげられています。これに続き、道路交通の充実や下水道整備などの生活利便性・快適性の向上が求められています。21世紀に向けて、町にはさまざまな課題があり、町民のみならず、みなさんの要望も多様なものとなっています。より住みよい横芝町をめざし、みなさんと行政が一体となったまちづくりを進めていきたいと思えます。最後に調査にご協力いただいたみなさん、どうもありがとうございました。